



藤井脳神経外科病院  
 〒329-1105 栃木県宇都宮市中岡本町 461-1  
 電話：028-673-6211（代）  
 FAX：028-673-2115  
 E-Mail：fujiihp@apricot.ocn.ne.jp  
 ホームページ：http://www.fujiihp.or.jp/



藤井脳神経外科病院

地域連携ニュース

平成 29 年 4 月 1 日号

## 受付時間

○ 診察可 × 休診

受付時間		月	火	水	木	金	土
午前 8:30~11:30 (診療は9時~)	初診	○	○	○	○	○	○
	再診	○	○	○	○	○	○
午後 13:30~17:00 (診療は14時~)	初診	○	○	×	○	○	×
	再診	○	○	×	○	○	×
休診	水・土の午後、日曜日、祝日 *急患は24時間対応いたします。						

## 外来担当表

	月	火	水	木	金	土
午前	淀縄 昌彦	國峯 英男	國峯 英男	藤井 卓	國峯 英男	淀縄 昌彦
	坂本 和也	宮田 貴広	鈴木 康隆	坂本 和也	淀縄 昌彦	坂本 和也
	宮田 貴広	鈴木 康隆	*松田 和郎	鈴木 博子	*大橋 康弘	*滑川 道人 (神経内科)
		*安納 崇之		*大谷 亮平		交代制
午後	交代制	交代制	休診	鈴木 博子	交代制	休診
		*獨協医大	休診	*大谷 亮平 (1・3・5週)	*自治医大	休診

\*非常勤医師

交代制：常勤医師が担当します。  
 (上記の担当は、都合により変更となる場合があります)

患者さんのご紹介などを通じ、当院との連携をいただいておりますことに感謝申し上げます。  
 今回は「脳ドック」情報とこの4月にリハビリテーション科の常勤医となった、吉田健哉医師の自己紹介記事  
 を載せました。

当院では、平成元年の開院時に「MR 脳検診」という形で、現在の脳ドックを始めました。自治体が行う健診の  
 中に脳検診を入れた試みを、どこよりも先に取り組みました。その後、脳ドック学会が誕生し、発展する中で、  
 当院もその名称を「脳ドック」へと変えました。その後も本県では数の少ない学会認定施設として歩み続けてお  
 ります。

吉田医師は、当院にある回復期リハビリテーション病棟（57床）の専従  
 医として勤務いたしました。入院患者さん中心の診療となるため、原則と  
 して外来診療は担当しません。しかしながら、患者さんが回復期リハビリ  
 テーション病棟を退院する際には、連携する医療機関や介護施設などへの  
 紹介状、報告書などを通じ、名前を見る機会が増えるものと存じます。

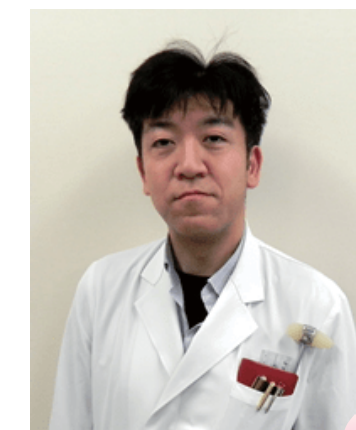


4月からの外来診療体制にも多少の変化があります。脳神経外科病院としての診療体制の強化をこれからも  
 図り続けてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。  
 理事長 藤井 卓

## ご紹介

平成 29 年 4 月より回復期病棟専任常勤医として赴任いたしました吉田です。  
 昨年度末まで、獨協医科大学病院リハビリテーション科にて十余年過ごしてきました。  
 その間ほぼ同年近く、藤井脳神経外科病院回復期病棟には、非常勤として  
 毎週勉強させていただいておりました。

今日の医療では、急性期、回復期、療養と病院機能が分断化され、特に大学病  
 院では急性期を担う役割として、平均在院日数を減らすことが命題となっていま  
 す。そのため、在院期間が長くなるリハビリテーション病棟は、大学病院におい  
 ては減少し消滅していきました。この経過故、大学病院でのリハビリテーション  
 科の担当する仕事は、他科入院中の患者さんのリハビリテーション依頼を受け、  
 リハビリ指示と必要書類の作成が中心となっております。



吉田 健哉

今回、当院において回復期病棟を専任することとなり、今まで大学病院では果たせなかった、患者さん  
 に寄り添った長期的な経過を担うことに、喜びを感じております。病棟を担当する医師としては、内科的  
 な知識も必要とされ、これまでの経験だけでは不慣れなことも多くなります。

地域の貴院・貴施設へのコンサルテーションにて、ご意見やご高診をお願いすることが多々あると思  
 います。ご教示、ご支援などいただければ幸いです。宜しく願いいたします。



## 脳神経外科医療のトピックス (3)



### 脳ドック

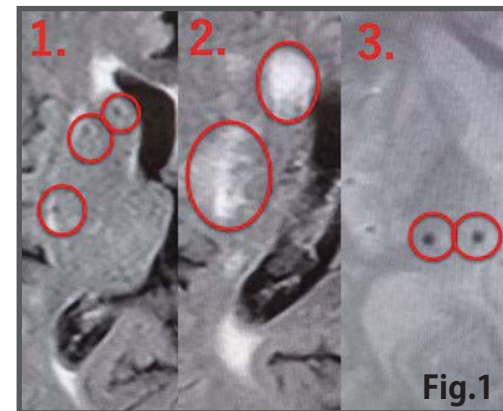
医学の進歩により、脳卒中死亡は激減していますが、高齢化社会では高齢の脳卒中後遺症患者さんが増え、介護費用は依然トップの状況が続いております。そのため、脳卒中予防は大きな課題となっています。

当院は、脳ドック学会認定施設であり、学会の推奨する項目の検査を行っています。脳卒中予防として、中・高齢者、脳卒中の家族歴、高血圧、糖尿病、脂質異常症、肥満、喫煙などの危険因子を有する方に受診を勧めております。現在は年間約 600 人の受診者があり、今後も広くご活用いただきたいと存じます。

今回は、脳ドックでの MRI 所見として多くみられる

1. 無症候性脳梗塞
2. 大脳白質病変
3. 脳微小出血

これらは脳小血管病 (SVD; small vessel disease) が基盤となっていると言われており、脳小血管病は、脳卒中の発症や再発、認知機能障害、抑うつ状態などに関連することが知られています。



1. 2. FLAIR 画像 3. T2\*画像

#### 1. 無症候性脳梗塞

いわゆるかくれ脳梗塞です。追跡調査では、無症候性脳梗塞群で発症した脳卒中のうち、30.6%が出血性脳卒中であったと報告されました。その結果から、無症候性脳梗塞には安易に抗血小板剤を投与すべきではないとされ、その必要性は、脳梗塞や血管の状態にて総合的に判断されます。最大の危険因子は高血圧であり、まずは血圧管理重要となります。当院で行われた脳ドック結果の解析からも、無症候性脳梗塞群では、有意に収縮期血圧の上昇がみられました。

#### 2. 大脳白質病変

大脳白質病変は脳小血管病や慢性虚血に関係し、脳卒中発症、認知機能低下、死亡の増加に有意に関与しているとされます。

高度な白質変化は、脱髄、変性、微小梗塞などが混在しています。危険因子として、加齢を除くと高血圧が最大の危険因子であると言われます。

当院の結果においても、大脳白質病変群では、有意に収縮期血圧の上昇がみられました。

#### 3. 脳微小出血

脳卒中のきわめて高い危険因子とされています。初回脳出血の独立したリスクファクターとも言われ、発見した場合は脳卒中の可能性が高いということとなります。

脳葉に多発して微小出血がある場合は、特に脳出血のリスクが高く、抗血小板剤などの投薬は困難となります。

また、認知症認知機能、精神運動機能、日常生活動作などの低下と関連しています。

当院の結果においても、脳微小出血群は明らかに収縮期血圧が高くみられました。

左記に提示した通り、これら脳小血管病には、日常の血圧の管理が非常に重要ということとなります。

血圧管理には、減塩の必要性が周知されています。

日本では 1 日の食塩摂取量は男性 8g 女性 7g 以下が推奨されていますが、実際の摂取量は平均 10g を超えると言われます。食塩摂取量の過剰は高血圧を招き、冠動脈疾患を引き起こすことは周知されており、これに加え脳卒中の引き金にもなっていることが報告され注目されています。

当院では、脳ドックにて随時尿を用いた食塩摂取量の測定を取り入れております。当院のデータからも、食塩摂取量が多くなると血圧が高くなり (Fig. 2)、

無症候性脳梗塞や大脳白質病変のある群は、有意に食塩摂取量が多い結果となりました。(現在脳ドック学会の助成金を受け、研究しております。)

また、食塩摂取量が多いと肥満度が高くなります (Fig.3)。

肥満は生活習慣病として他疾患を招きます。減塩対策は、脳卒中を含め様々な病気の予防となると考えられます。

脳ドックでは問診、血圧、身長体重、腹囲、複数の MRI 画像や MRA、頸部超音波検査での動脈硬化所見、心房細動の有無、脂質異常症や糖尿病などのチェックを行います。総合的に状態を判断し、対策を考慮することができます。動脈狭窄、未破裂脳動脈瘤、脳腫瘍など無症候に発見された場合には、治療を考慮しつつ定期観察となります。

脳卒中对策としては、必要に応じて降圧薬、抗血小板療法、抗凝固療法、スタチンなどによる薬物療法を開始し、そして減塩を始め食事・運動指導を行うことが必須となります。

(文責 鈴木 博子)

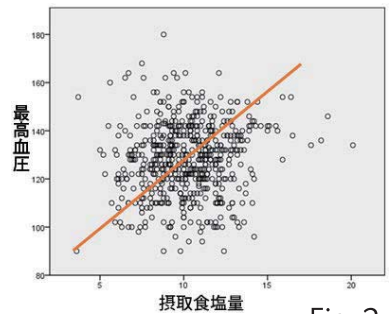


Fig. 2

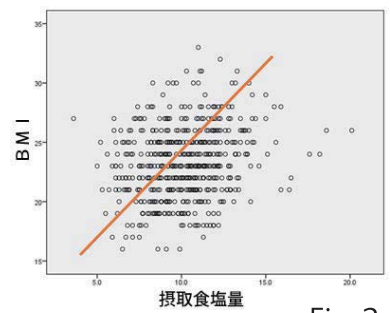


Fig. 3

#### 当院脳ドックコースの紹介

A コース (学会推奨のコースです)

・MRI (磁気共鳴断層撮影) ・MRA (磁気共鳴血管撮影) ・頸動脈超音波検査 ・血液検査 ・尿検査 ・心電図検査 ・認知機能検査

B コース ・MRI (磁気共鳴断層撮影) ・MRA (磁気共鳴血管撮影) ・頸動脈超音波検査 ・尿検査 (摂取食塩量)

C コース ・MRI (磁気共鳴断層撮影) ・MRA (磁気共鳴血管撮影)

予約状況など、詳しくはホームページをご覧ください。

#### お知らせ

当院では脳卒中急性期に脳血管内治療を積極的に取り入れております。また、血行状態に応じて開頭手術での血管形成も行っております。

次回は、脳血管障害の手術 (バイパス術など) について、お伝え致します。

